

令和7年度第2回郡山遺跡・陸奥国分寺跡等調査指導委員会（書面開催）ご意見一覧

No.	ページ	ご意見など	委員
1	1-2（表）	黒田の行を「造園学 芸術系 教授」に修正	黒田委員
2	2-6	太白山を望む光景は、現在きわめて貴重である。服属儀礼などで「山」は重要な役割を果たした。 この写真を市民の方々にも見せたいと思うので、パネルなどで展示するなど工夫してほしい。また、2-1ページの写真も同様と思います。	渡部副委員長
3	3-17 ページ	「孝徳期」に西暦を入れるとより分かりやすくなると思います。「按察使」のルビは「あぜち」でよいが、岩波書店「新日本古典文学大系『続日本紀』」では「あんさつし」とあるので「あんさつし」も併記したほうが良いと思う。なお、「保存活用計画」（2024.3）用語等では併記（P117）	渡部副委員長
4	3-22 ページ	737年に陸奥国から出羽柵に遷する道路開通事業に関連し。出羽柵が「秋田村高清水図岡」に移転したことを示す、「続日本紀」の？年、733年を載せたほうが分かりやすいと思う。初期の出羽柵は山形？の庄内にあったと推測されるが遺構は確認されていない。	渡部副委員長
5	6-3, 4	6-4の表に書かれた方針の場所がわからないものがあるので、6-3の図または別図を作ってわかるようにしてほしい。	黒田委員
6	6-5, 6	6-6の表に書かれた材木列跡と大溝の場所について、6-5の図または別図を作ってわかるようにしてほしい。	黒田委員
7	6-15 4行目	「暗渠管設置して」→「暗渠管を設置して」の方が良いかもしれません。	吉田委員
8	6-18	「天然材」は「自然石」でしょうか？石以外の可能性が低い場合は「自然石」としたほうが伝わると思います。	黒田委員
9	6-20 一番上の「・」	「擬木や石材等」について、削除しても良いかと思います。デザイン的に他の素材の可能性を残して欲しい。	黒田委員
10	6-20 二番、三番目の「・」	遺構の覆土の上に20-30cmということなのか、わかりにくいです。模試図でどの部分が土になるのか（透水性舗装の文字のところは土？）、また土の厚さについても記載と合っていないのでは？	黒田委員
11	6-20 二番、三番目の「・」	遺構の表現として花壇が良いのか気になります。また、そのために給水設備を作るのも無理があるように思います。場所的には良いかもしれませんが。花壇を決定事項とせず、もう少し含みを持たせた書き方を希望します。	黒田委員
12	6-23	(2) 植栽について、菜園は見た目が美しくないため、花壇等でも良いかと思いません。また上記にもコメントしましたが、花壇が良いかについては、基本設計等で再検討する必要があると思いますので「実施」ではなく「検討」としてはいかがでしょうか。	黒田委員

令和7年度第2回郡山遺跡・陸奥国分寺跡等調査指導委員会（書面開催）ご意見一覧

No.	ページ	ご意見など	委員
13	6-23	イグネ等、既存樹木の伐採・枝打ち前に、望ましい姿を史跡の植生、都市の緑、樹木の健全性、野鳥・昆虫等の生息環境の観点から有識者の意見、合意形成を経ないといきなり、伐採や枝打ちということにはならない。できれば史跡内全体の植生（木本・草本）管理方針を策定して、年次計画をたてて整備するのがよい。	北野委員
14	6-23	伐根と抜根は一般には同じ意味に捉えられます。史跡内で地下遺構を破壊する恐れのある抜根は避けるのが一般的です。地上部で伐採。誤解がないように。	北野委員
15	6-23	遮蔽施設の設置が必要な方角・高さ等は基本設計で検討するというのでしょうか。造成・舗装の全体計画はいつ？これも基本設計時に全体計画を作るのか。	北野委員
16	6-23	(2) 植栽（地下遺構に影響を与えないように）花壇や植栽による遺構表現を行います。	北野委員
17	6-24	上記のコメントの続きで、花壇については再検討が必要と考えますので、最後のふたつの「・」については削除しても良いと思います。	黒田委員
18	6-24	7 案内・解説施設に関する計画 動線と視点場（見せたくない方向の視点場も含む）・便益施設との関係がわかる図を作成して設置場所を示す必要がある。既存サインの位置と新設サインの位置、両者を含めた更新スケジュール（未定であればいつ？）が必要。サインの基本設計時となるか。	北野委員
19	6-34-	13公開・活用に関する計画においても、植栽や菜園の記載がありますが、少し柔らかい表現にさせていただくと良いと思います。	黒田委員
20	6-28 以降	ピロティ利用のメリットとデメリットについて論点を整理していただいたので、わかりやすくなったと拝見しました。あとは地域の皆さんの思いとうまくすり合わせられると安心です。	吉田委員
21	6-28 以降	余計な心配ですが、ピロティの動線を分離することで懸念される点として、生徒さんの避難経路や緊急車両の進入路の確保との関係が発生するかもしれません。最南の建物が孤立してしまう可能性があるかもしれません。仕切るフェンスを緊急時に開放できる構造にするなど、いくつか方法はあるかと思いますが、ただ今回はそこまで書き込む必要はないかと思います。6-31の図の※に整備着手時に検討します、とあるので、その段階でも間に合うかと思います。	吉田委員
22	7-2	事業スケジュールに関して、表では各種整備の施工年度のみ書いているように見える。検討？（基本・実施）設計の期間を含め記載する。	北野委員
23		標記の件につきましては、これまで委員会の中でいろいろ意見を述べさせていただいてきましたが、先に送っていただきました基本計画素案につきましてはこれまでの意見が網羅されていると思いますので特に意見はありません。 ただ一点申し上げますとすれば、前期事業期間における基盤整備・政庁ゾーンで、現在でも遺跡に足を運んでいただいている視察見学者に対するトイレや四阿等の整備については特に配慮いただければと思っています。以上です。	松委員